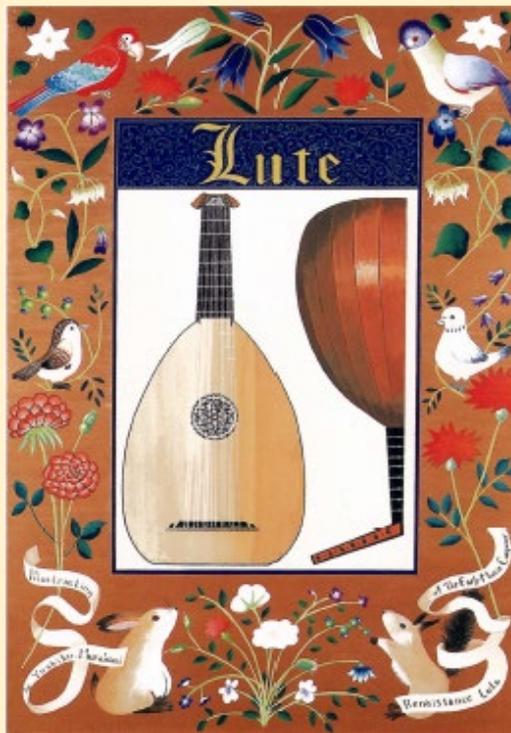


第229回 ランバス演奏会

Lambuth Chapel *Concert*

ダウランドからパーセルへ
「イギリスのオルフェウス」



平井満美子／歌
佐野健二／リュート

2025年4月24日（木）
関西学院ランバス記念礼拝堂

Programme

プログラム

【John Dowland ダウランド 1563-1626】

●帰っておいで Come again

さあもう一度 愛が呼んでいる 僕の求める喜びを与えよと 甘美に響き合う
心をこめて きみとともに 命果てるばかりの喜びを さあもう一度

●透明な涙よ Go crystal tears

おまえの哀れみの力で しおれた花が露を得て生き返るように
あの人的心里に僕のことを生き生きと思いださせておくれ

●僕の受けた苦しみを Can she excuse

非情とわかったあの人を心やさしいと呼べるのか
冷たい愛はみのらない 苦しむより千度死ぬほうがまし

●ファンタジー Fantasia

●流れよ わが涙 Flow my tears

夜の黒い鳥が歌う闇の中で 僕はひとり打ちしおれて生きよう
幸いなるかな 地獄に落ちてこの世の蔑みを感じえぬ者よ

【Henry Purcell パーセル 1659-1695】

●つかの間の音楽 Musik for a while : 劇 Oedipus より

悩みをまぎらわせよ 死者の永遠の縛めをとき放つまで
しばしの間 悩みをまぎらわせておくれ

●こよなく美しい島 Fairest Isle : オペラ King Arthur より

ヴィーナスの喜びと愛のあるこの島に住まいを定めよ
愛の炎を掻き立てるため息
あなたが示す苦しみは柔らかな拒絶だけ 若者は愛に報われるだろう

●グラウンド Ground

●沈黙の闇の国から From silent shades : Bess of Bedlam

悲しみのうちにこの世を去った哀れなベス
恋の病を癒すため現世に舞い戻る
しかし「この世がこれほど狂気であるとは」・・

●嘆きの歌 The plaint : オペラ The Fairy Queen より

おお、泣かせて下さい！いつまでも泣かせて下さい！
あの人は逝ってしまった もう二度度会えない 心を失うまで泣き続ける

●幾重にも幸せな恋人たちよ Thrice happy lovers

: オペラ The Fairy Queen より

人を悩ます悪魔であるやきもち 結婚生活につきものの心配事
争いから自由でありますように 互いに誠実でありますように

使用楽器 7-course lute = Martin Haycock 2015 pitch a' = 415Hz.

14-course Liuto attiorbato = Junji Nishimura 1985 pitch a' = 415Hz.

平井満美子 Mamiko Hirai / ソプラノ

神戸女学院大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、オペラ、バロック、ルネサンスと様々な音楽ジャンルで演奏活動始めるが、その興味はルネサンス後期から初期バロックに絞られてゆき、1990年より佐野健二とのデュオ活動に演奏活動の中心とする。特にイギリス音楽の評価は高く、発売されたデュオCD14点全ては専門誌の推薦盤等選ばれ、「大阪文化祭本賞」も受賞している。EMC 主宰、NHK 文化センター大阪「リュートで歌うはやり歌講座」講師。

佐野健二 Kenji Sano / リュート

ギルドホール演劇音楽院首席卒業。ギルドホール音楽院より「ジョン・ペティカン・クリフォード音楽賞」を受ける。演奏活動に対し「ロンドン芸術協会選出新人音楽家」「大阪文化祭本賞(2回)」「クリティッククラブ新人賞」「神戸灘ライオンズクラブ音楽賞」等多数受賞する。リュート音楽に特化した EMCluteRecords を主宰、発売されたCDは専門誌において優秀録音盤、推薦盤等として評価されている。現在、EMC 主宰、NHK 文化センター大阪講師。

QR コードもしくは別紙より、
アンケートにご協力ください♪





関西学院宗教センター